

「地域に根差したチームオンコロジーセミナー2020」

～“顔が見える”チームで行う全人的地域連携～



開催日程: 2020年5月23日(土) - 5月24日(日)

開催場所: 松山大学薬学部棟(9号館)

【セミナーの到達目標】 患者に関わる全ての人々によるチームで、患者中心のがん診療を行うために必要な知識とスキルを多職種で共有し、連携実践の基礎をつくる

がん医療に携わる医師、薬剤師、看護師、歯科医師、栄養士、ソーシャルワーカーなどが、チームとなって行うべきがん医療、地域連携について、参加型セミナーを通じて、全員が理解を深め、実践できるようになるための知識とスキルを身につけることを目指します。

プログラム

セッション1 Educational Solution Seminar 5月23日: 13:00 - 20:00

1-1 課題定義とパネルディスカッション

「地域医療におけるチーム医療の意義」

愛媛県在宅緩和ケア推進協議会 副会長 吉田 美由紀

八幡浜医師会居宅介護支援事業所 清水建哉、今治おかもと薬局 岡本 ひとみ

1-2 講演と課題検討

テーマ(案): 「チームで行うがん治療マネジメント～地域連携の活用と全人的ケア」

1) 副作用(分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などの副作用マネジメント、多職種連携)

共催: 日本イーライリリー株式会社、小野薬品工業株式会社、中外製薬株式会社

2) 高齢者(高齢者の化学療法、緩和医療、副作用マネジメント)

共催: エーザイ株式会社、第一三共株式会社、協和キリン株式会社

セッション2 Group Work and Discussion 5月24日: 8:00 - 15:30

1. 講演: 「自己理解・他者理解を深め、よりよいチーム医療を実践する」

鳥取大学 陶山 久司

2. 講演: 「チーム医療を推進するためのリーダーシップ、シェアードビジョン」

テキサス大学MDアンダーソンがんセンター腫瘍内科教授 上野 直人

3. ランチョンセミナー 「リキッドバイオプシーによる乳がん診断の可能性」 東レ株式会社

座長: 愛媛大学医学部附属病院乳腺センター センター長 亀井 義明

演者: 国立国際医療研究センター乳腺腫瘍内科 下村 昭彦

4. グループによる課題検討 5. グループ発表 6. 総合ディスカッション 7. クロージング リマークス

【募集要項】

対象: がん医療に携わる医師、薬剤師、看護師、歯科医師、栄養士、MSWなどの医療従事者
45名前後 ※施設単位(医師、看護師、薬剤師、ほかのチーム)でのお申し込みも可能です。

参加費: 医師: 10,000円、医師以外の職種: 8,000円
(但し、交通・宿泊費用は参加者のご負担となります。ご了承ください。)

申込受付期間: 2020年 3月9日(月)～3月31日(火)

申込受付登録: 右記QRコードからご登録ください。または、
下記webサイトに記載の登録用 URLからご登録・お申込みください。

<https://www.teamoncology.com/>

締め切り: 2020年3月31日(火)

※応募者多数の場合は、申し込み順、職種、地域などを考慮して選抜させていただきます。
参加の可否については改めてご連絡させていただきます。



共催: 一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト、松山大学薬学部

後援(予定): 愛媛県医師会、愛媛県病院薬剤師会、愛媛県薬剤師会、
愛媛大学附属病院腫瘍センター、愛媛県看護協会、四国がんセンターほか